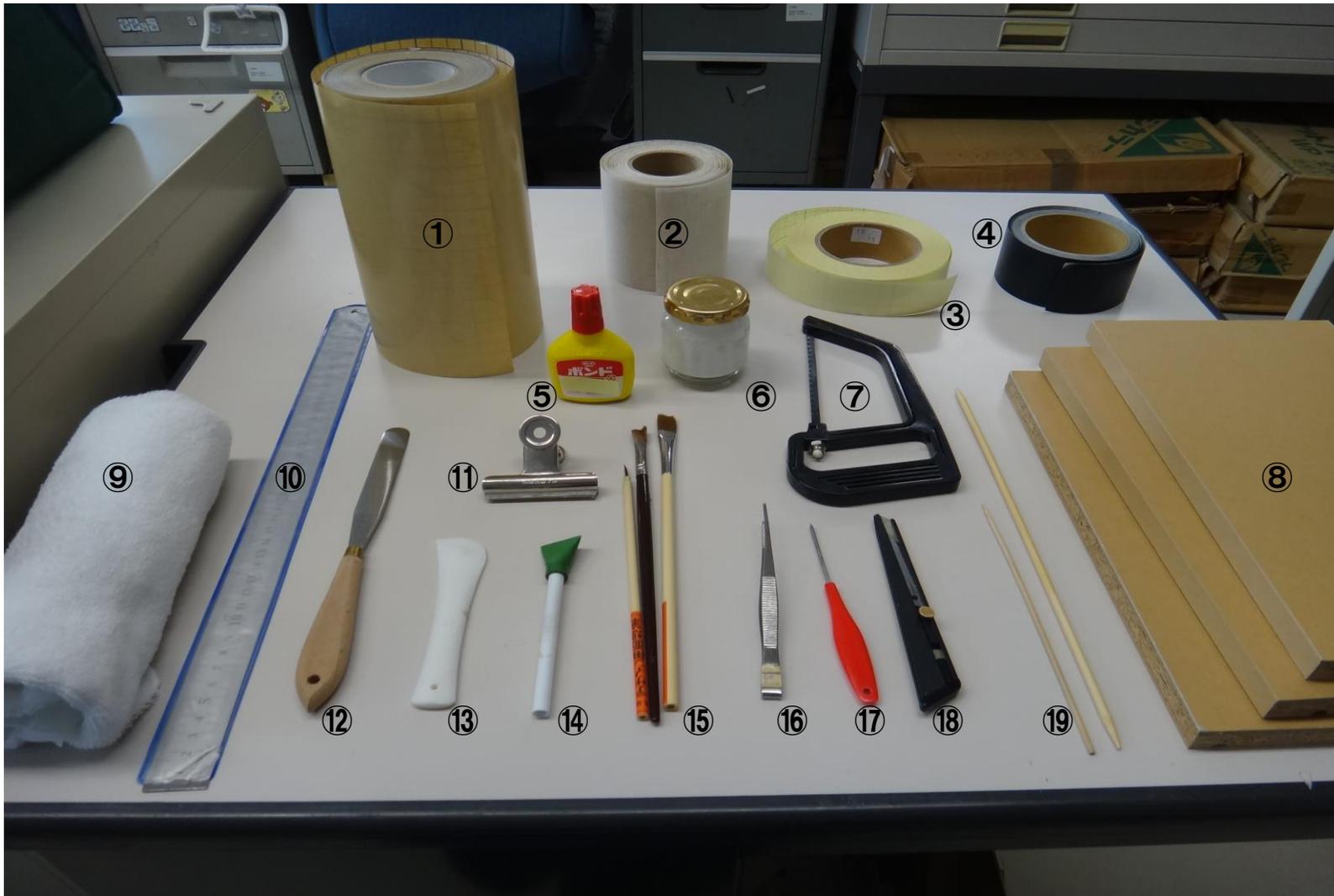


修理につかう道具



- ①カバー用フィルム
(はく離紙も使用)
- ②寒冷紗^{かんれいしや}
- ③ページヘルパー
- ④製本テープ
- ⑤木工用ボンド
- ⑥混合のり
- ⑦糸のこぎり
- ⑧平らな板
- ⑨布
- ⑩定規 (カッター用)
- ⑪目玉クリップ
- ⑫パレットナイフ
- ⑬へら
- ⑭ゴム刷毛
- ⑮筆
- ⑯ピンセット
- ⑰目打ち
- ⑱カッター
- ⑲竹ひご、編み棒

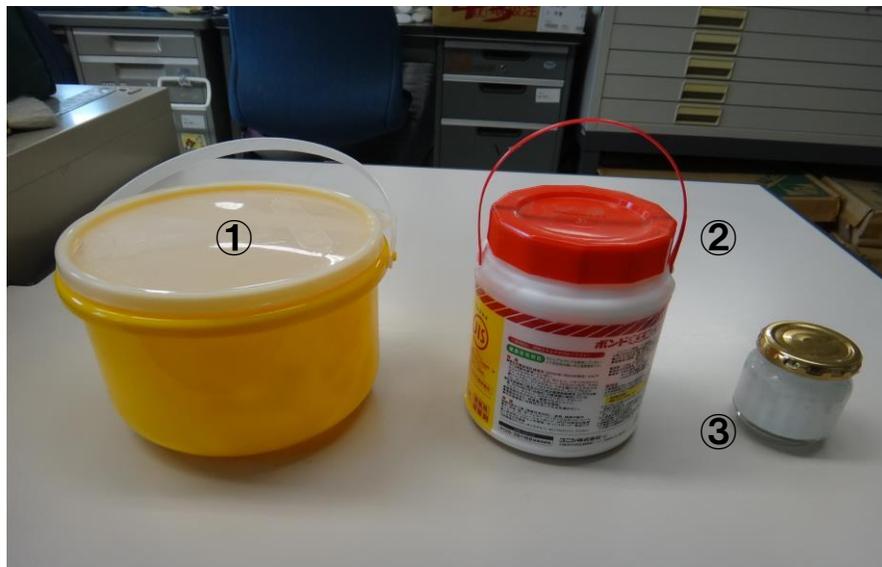
これらは修理に使う道具の一部です。

①～⑥はつなげるためのテープやのり、⑫⑭⑮はのりをつけたるための道具です。

⑦は無線綴じ本の修理で、接着強度を増すため本の背に切れ込みを入れるときに使います。

⑲は本の溝を整えたり、本の形崩れを防ぎながら固定するときに⑧と一緒に使います。

のり（混合のり）



用途にあわせて3種類を使い分けています。

- ①でんぷんのり
- ②木工用ボンド
- ③混合のり

混合のり（③）は固まりやすいので使用する前に使う分だけを少量ずつ作ります。混ぜる割合は①と②を2：1の割合でよく混ぜてページはずれの修理などに使います。用途にあわせて水で薄めたり、ボンドの割合を大きくする場合があります。

汚れをおとす道具



- ④刷毛（カビの原因になるホコリをとる）
- ⑤紙やすり（手あか、よごれの除去）
- ⑥
- ⑦ } 本専用のやすり
- ⑧ }
- ⑨シールはがし（セロハンテープはがし）
- ⑩消しゴム（鉛筆の書き込みや汚れおとし）

※これらの道具ですべての汚れが落ちるわけではありません。